

教育センターニュース

ミネルバ

116号

佐賀県教育センター <http://www.saga-ed.jp/>
〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上
Tel 0952-62-5211 Fax 0952-62-6404

特集記事

- 副所長あいさつ
- 特集「言語活動の充実」
- ICT活用実践研究募集 他
- 教育センター 知っ得情報



『新しい酒は新しい革袋に盛れ』



副所長 今泉 弘

新約聖書の中に、「新しい酒は新しい革袋に盛れ」という言葉があります。これは、中味が新しくなるときには外側の容器も新しくする必要があるということであり、言い換えれば、いつまでも古い様式に頼ってはいけないということを表しています。新しい中味を学校教育法の改正や学習指導要領の改訂、学習評価の改善だとすれば、その容器は教職員の意識です。新しい制度をしっかりと根付かせるためには、その器となる私たちの考えや指導方法も変わっていく必要があるのではないのでしょうか。

新学習指導要領では、これまでの「生きる力の育成」を継続しつつ、「基礎学力の向上」と「活用力の育成」が強く打ち出されました。具体的には、授業において、基礎的・基本的な知識・技能と、それを実生活の中で活用していく思考力・判断力・表現力をバランスよく育成することが求められています。また、そのために各教科等において、言語活動の充実ということがキーワードになっています。

そのような時代の要請と学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、教育センターでは今年度、「新学習指導要領に基づく教育の推進」をテーマとして、先生方の課題解決やニーズに対応した取り組みを進めています。その一例を紹介します。

○ 指導法改善に資する114本の研修講座

センターの研修講座は、「新学習指導要領」及び「佐賀県教育の基本方針」を踏まえた内容となっています。講義、演習、実践発表の充実はもちろんのこと、特に14本の研修講座では、研究協力校における所員の授業を通して、具体的な指導の在り方を提案します。今年度は、小学校で7教科等、中学校で5教科等、高校で2教科の講座授業を行います。

○ 県の教育課題解決のためのプロジェクト研究

センター所員、学校職員、通年の長期研修生で進める「プロジェクト研究」に取り組んでいます。新学習指導要領に対応した授業の在り方を探り、特に小中学校の国語、算数・数学の研究では、明日からの授業ですぐに使える教材やワークシートを年に5回の予定でWeb発信していきます。また、小中学校理科、小中学校特別活動、小中高校教育相談、小学校音楽科、生活科、小中学校特別支援教育の研究成果については、年度末にWeb公開する予定です。どうぞご活用ください。

○ 分析ツールの活用や指導法改善に関する学校支援

国や県の学習状況調査結果の公表後は、学校の指導法改善を支援する「分析ツール」を提供したり、各学校のデータ分析、指導法改善へのアドバイスをしたりしています。また、所員の専門性を生かして、各教科領域等に関する助言や資料提供なども行っています。昨年度は、延べ570回の所外援助にセンター所員が出向きました。

教育センターは、直接、学校や教職員にかかわり、学校の課題解決を支援し、先生方のニーズに応えるという使命をもっています。「アンテナは高く、垣根は低く」をモットーに、先生方に愛され、信頼され、期待に応えられるよう日々研鑽を積んでいきたいと思っております。どうぞご活用ください。

新学習指導要領では「言語活動の充実」が求められています。

こんにちは。私は、佐賀県教育センターで言語活動推進イメージキャラクターに選ばれた「ことはちゃん」です。よろしくお願いします。私は、21世紀社会を生きていく子どもたちが、思考力・判断力・表現力を育成するための言語活動を推進しています。

「言語活動」というと、国語科で身に付けるものと考えがちですが、新学習指導要領では「言語活動の充実」を全教科等で展開するとされています。それでは、「言語活動の充実」のために、具体的にどのような活動を計画すればよいのでしょうか？

今回は理数系の教科における言語活動について考えてみます。



小学校算数科

算数科では、算数的活動を充実させていくことが言語活動の充実につながります。算数的活動では、次のような学習活動が考えられます。

- ① 身体を使ったり、具体物を用いたりする学習活動
- ② 算数の知識を基に発展的・応用的に考える学習活動
- ③ 考えたことなどを表現したり、説明したりする学習活動

例えば、1年生では、具体物を重ねるなどの活動を通して面積を直接比較させ、どちらの面積が広いかを話し合わせる学習活動、4年生では、正方形や長方形の面積の求め方の知識を基に、児童が凹字型やL字型の図形の求積の方法を考え、互いに説明し合う学習活動などが考えられます。このように児童が算数的活動を通して、楽しさや数学のよさを実感することができるような学習活動を行うことが望まれています。



中学校数学科

数学科における言語活動とは、言葉、数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりするなどの学習活動であるとされています。

例えば、図形に示された角度を求める学習では、様々な条件を整理し、その条件の中で順序立てて考え、まとめたことを言葉や図を使って友達に説明するという学習活動を行います。考えを表現する過程で、自分の考えのよい点や誤りに気付くことができます。また、自分の考えとは異なる友達の考えを聞くことで、思考力の広がりや深まりへとつながります。

知的なコミュニケーションを通して表現の質が高められ、生徒同士が相互にかかわり合いながら学習を充実させることにつながるような言語活動を取り入れていきましょう。

子どもたちが楽しさやよさを実感できることが大切ですね。

小学校理科

「えっ！どうして上の方が温かいの!?」これは試験管の水を下の方のように熱して、水の温度を確かめさせたときの児童の反応です。同じ現象を体験しても、児童の解釈は同じとは限りません。

(例) 事象を正しく読み取る。
T「今、目の前で何がおきてる？」
C「下を温めてるのに、上の方が温かくなってる！」



確かな問題意識をもつ。
T「自分の言葉で説明できるかな？」
C「水は温められると上にいこうとすると考えれば・・・。」

小学校の理科における言語活動は、この「なぜ」「どうして」という児童の考えを、言葉として表出させることから始まります。「何がどうなったから不思議だ。」「何が関係してそうなるのか、私はこう考える。」というように、授業では児童が考えていることを言葉で表現する必然性をもたせます。児童が言葉として表現したもののから問題意識が明確な仮説を導くことで、目的をもって実験・観察へとつなげます。

中学校理科

中学校理科における言語活動の充実では、観察や実験等の生徒の直接体験と結び付けた指導を行うことが重要で、次のような学習活動が考えられます。

- ① 問題を見出し、観察や実験を計画する学習活動
- ② 観察や実験の結果を分析し解釈する学習活動
- ③ 科学的な概念を用いて考察したり説明したりする学習活動

例えば、新学習指導要領の新規内容「電流の正体を調べよう」では、電流が電子という粒子の流れであることを学習します。ここでは学習に入る前に生徒自身に回路を流れる電流のイメージを図と言葉で表現させます(右図)。これを踏まえて「誘導コイルを使った陰極線の観察」という直接体験と結び付けさせる指導を行います。これにより、学習に入る前に生徒がもっていた概念を科学的な概念へとスムーズに導いていくことができます。



佐賀県教育センターでは各教科等の専門研修の中にも「言語活動」にかかわる内容や新学習指導要領で求められている内容を取り入れた講座を数多く取りそろえています。先生方と研修講座でお会いできることを楽しみにしています。

『教育論文』・『ICT活用実践研究』募集中

今日求められている教育課題を追究した研究や実践、情報機器やマルチメディアコンテンツを効果的に活用した授業実践等を募集しています。

教育センターでは『教育論文』を引き続き募集するとともに、今年度から、これまでの「教育情報コンテンツ」を、授業や校務等での“活用”に重点をおいた『ICT活用実践研究』として募集します。「授業の質を向上させたい」「児童生徒が生き生きと活動する場をつくりたい」「校務処理の効率を向上させたい」など、先生方のICT活用の知識や実践成果を共有するために、授業や校務の中でICTを効果的に活用した実践を応募してください。

『教育論文』の例

今日的教育課題を追究した研究や実践

学校全体や個人またはグループで、各教科等、学校教育全般のテーマの中から、今日求められている教育課題を追究した研究や実践

『ICT活用実践研究』の例

学級や学校行事での活用実践

ソフトやコンテンツ、電子黒板等を使った授業展開や児童生徒が学校行事で生き生きと活動している様子をまとめた実践

校務・事務処理での活用実践

ICTを効果的に使うことで、校務効率が向上し、教材研究や児童生徒にかかわる時間が増えた様子をまとめた実践

応募・表彰・発表

実践論文の応募について

- 応募期間
*市町立幼稚園・小中学校
11月1日(月)～10日(水)
*県立学校
11月15日(月)～24日(水)

入賞者表彰・実践発表

- *教育実践交流会
2月17日(木)
*優秀な実践はセンターのホームページで公開させていただきます。

詳しい募集要項はセンターホームページをご確認ください。ご応募お待ちしております。

佐賀の教育情報リンク&交流サイト ES-Commons

佐賀県の教育情報をのぞいてみよう！交流してみよう！

ES-Commons は新規会員を募集しています。あなたも新しい教育活動の輪を広げてみませんか。

情報収集のツールとして

ES-Commons では、佐賀県内のそれぞれの組織が出している教育情報にリンクを設定し、集約しています。だれでも閲覧可能で、必要な情報を効率よく入手することができます。

交流・情報交換の場として

会員登録すれば、県内の教職員だけが使える会員専用サイト「グループルーム」を作成できます。掲示板やスケジュール管理、データのやり取りなどの便利な機能が豊富です。

おすすめ！
活用術

県外出張や休暇のとき、連絡事項を伝達したり、ファイルのやり取りをしたい…
会員登録&グループルーム作成で、どこからでもデータのやり取りができます。

グループウェアとして

詳しいお問い合わせは
情報教育担当まで

☎ 0952-62-5211
(内線 353)

✉ escmaster@saga-ed.jp

ES-Commons を一度のぞいてみてください！

ES-Commons 検索

「ICTスキルアップオンライン」申し込み受け付け中です！

ICTスキルアップオンラインは、授業でICTを活用したいと考えている先生方のためのe-ラーニングシステムです。効果的な提示資料を作成する方法や、授業で活用するためのポイントなどをいつでも学ぶことができます。詳細はセンターホームページで紹介しています。

内容 パソコン活用基礎から情報モラル教育など全9コースを準備しています。

0. 学力向上とICT
1. パソコン活用基礎 授業編
2. ICTスキル活用 小学校編
3. ICTスキル活用 中学校編
4. ICTリーダーズ
5. ICTアクセシビリティ
6. 情報モラル指導力アップ
7. 情報セキュリティ
- M1. サーバ運用管理トレーニング

活用力UP



知^っ得情報

Information

みなさんの研究や日ごろの授業実践をサポートします！

《研修援助》…それは教育センターと学校をつなぐ虹のかけ橋です。

先生方の毎日の教育実践の中で課題や疑問が生まれたら？
例えば、「学習状況調査の分析ツールの使い方を知りたい…。」

「小学校の外国語活動について学びたい…。」

「校内研究で特別活動の講師が必要だ…。」など

そんなときには《研修援助》をご活用ください。教育センターには解決のための手立てがたくさんあります。県内の各学校やセンター内で、担当所員が先生方の相談に応じて資料提供などを行います。



《学校での支援の様子》

《お申し込みの方法は？》

- ① 各教科等の教育センター教科担当所員に電話連絡をし、希望の日時、内容等を伝えてください。
- ② 貴所属長から、教育センター副所長(所員による研修援助の窓口)に所外援助依頼の電話連絡をお願いします。その際、日程・場所・内容等を伝えてください。
- ③ 所外援助の内諾を得た後、所長宛依頼文書を郵送してください。

※旅費・交通費に関しては、原則として各学校・教育諸団体の負担をお願いします。

図書資料室案内

教育資料・蔵書は図書資料室で閲覧できます。図書資料室では、全国から集まった研究紀要や最新の教育関係の図書をはじめ、教育関係の月刊誌など、書籍を数多く取りそろえております。また、インターネット検索用パソコンも利用できます。

《貸し出し》

貸出冊数…一人 **5冊**まで

貸出期間… **2週間** 以内



貸し出し時に本人様用の控えをお渡ししますので、返却時にお持ちください。センターに来られた代理の方による返却や郵便小包か宅配便での返却も可能です。なお、研究紀要、教科書、新刊の月刊誌や禁帯出シール貼付の図書等は原則として貸し出しできません。

《紀要検索・蔵書検索》

本教育センターに所蔵している全国教育研究紀要(平成9年度以降)や学校教育関係図書(平成7年度以降)を教育センターホームページで検索できます。

《利用案内》

利用できる人…佐賀県内の教育関係職員

利用できる日…平日(12月29日～1月3日除く)

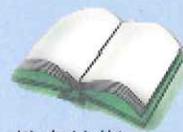
利用できる時間…8:30～17:15

お問い合わせ…教育課程支援担当(内線 371)

《図書資料》

- 主要新聞 ○大学紀要
- 全国の教育センター等の所報
- 大学院の修士論文集(佐賀県教職員関係)
- 内地留学論文集(佐賀県教職員関係)
- 教育関係の月刊誌等

本年度定期購読している雑誌は…
内外教育, 日本教育新聞, 文部科学時報,
初等教育資料, 教職研修,
中等教育資料, 児童心理,
生徒指導, 高校教育, 理科の教育,
道徳教育, 特別支援教育研究, 総合教育技術,
指導と評価, 英語教育…
過去の雑誌も多数取りそろえています。



平成22年度教科書検定結果の公開

今年度、文部科学省の依頼により、九州では唯一、佐賀県教育センターにおいて、平成21年度実施の教科書検定意見書及び修正表等を公開することになりました。併せて平成23年度から使用される小学校教科書及び高等学校教科書も公開しています。夏季休業中のセンター講座を受講された際に、昼休みなどを利用して検定意見書や新しい教科書に目を通してみませんか。

Hot Topics

- 場所 佐賀県教育センター
1 F 図書資料室
- 期間 7月29日(木)～
8月11日(水)
- 日時 土曜日及び日曜日を除く
9:30～17:00